

福島工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	卒業研究
科目基礎情報						
科目番号	0109		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 6		
開設学科	コミュニケーション情報学科 (H31年度開講分まで)		対象学年	5		
開設期	通年		週時間数	6		
教科書/教材	指導教員の指示による。					
担当教員	芥川 一則,湯川 崇,島村 浩,松江 俊一,田淵 義英,杉山 武史,若林 晃央,安部 智博,渡邊 エリカ,ニムア ビン					
到達目標						
受動的な学習態度ではなく、問題を自ら探して見つけよるような積極的かつ自発的な取組ができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	到達目標の内容を実践で理解し、応用できる。		到達目標の内容を実践で理解している。		到達目標の内容を実践で理解していない。	
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	5年間の学習成果を基に、担当教員の指導により学生の興味と好ましい資質の伸展をはかり、探索的な学習を通じて問題解決能力を育成する。					
授業の進め方・方法	指導教員の指導にしたがい年間計画を立て、研究を行う。 前年度の研究テーマ例は以下のとおりである。 ・小名浜地域の再整備と課題-イオンモールを中心に- ・自己と他者の関係性から捉えるアイデンティティの喪失-「ほんもの」と純粋な関係性の観点から- ・部活動に関わる教員の現状と課題 ・金融機関と中小企業会計基準の関係に関する一考察 ・日本における国際会計基準採用の現代的意義 ・キルギス語における借用語の語幹への母音調和の適用-ロシア語からの借用語のデータを用いて- ・保健機能食品普及の状況と要因についての一考察 -福島県の若年層を事例に- ・ウエイトトレーニングと短距離走の走力の関係の研究 -高校生を事例に- ・現代社会における自己実現の限定性と自己責任論の無条件な適用 ・スウェーデンにおける男女平等と女性が働く動機の関係-スウェーデンの政策と婦人運動の目的の遷移- ・就業意識に影響を与えた要因の一考察 ・チラシの紙質に関する一考察-福島高専ビジョミ科の学科紹介チラシに焦点を当てて- ・絶対主義と相対主義の相克が引き起こす道徳問題-道徳教育の発達史を通して- ・現代社会の死生観の変化 -葬制文化の観点から- ・現代社会における妬みと平等主義 ・認識における差別-他者理解を通じて- ・他方言話者の方言が福島県方言話者に与える心的影響 ・クラウドファンディングを用いたアニメ制作資金の調達 -オタクは何につられて投資するのか- ・オープンデータを利用したいわき市内観光客向けアプリケーションの開発-バス利用者に重点を置いて- ・外資系企業の働き方からみる日本企業の福利厚生展開 ・クラウドファンディングの現状と展望-いわき市内のプラットフォーム・プロジェクトを事例に- ・留年者減少のための一提案-福島高専を事例に- ・現代の日本人の恋愛観に関する一考察-過去の日本人の恋愛観との比較- ・「地域ブランド」づくりに関する知的財産権の活用 ・インバウンド観光による地域活性化-いわき市を事例に- ・日本における「のれん」に関する一考察 ・Arduino を利用した視覚障害者補助アプリケーション -視覚障害者転落事故の防止のために- ・ブレイクダンスは何故ユースオリンピックに受け入れられたのか-HIPHOP 文化の評価の変化- ・アルバイトによる学生のストレス-福島高専生を事例として- ・いわき市の生活環境特徴についての評価-外国人の観点から- ・中心が周辺に行く両義的な国際協力について一個人が国際協力に安易に関与することへの批判的考察- ・KY (空気が読めない) の原因と対策 ・特定非営利活動法人における会計の目的 ・介護従事者の現状調査と課題-障がい者支援施設を事例に- ・アニメ業界と聖地巡礼行動の共進化 ・日本の伝統工芸品を用いたアクセサリーの試作とその市場に関する一考察					
注意点	各テーマについて指導教員より指示がある。 卒業研究報告書を70%、プレゼンテーションを30%で総合的に評価する。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				

後期		14週		
		15週		
		16週		
	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	報告書	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0